

日本ユネスコ国内委員会における最近の広報普及活動について(報告)

1. 日本ユネスコ国内委員会広報大使関係

平成30年5月11日(金)に文部科学省にて「日本ユネスコ国内委員会広報大使」(以下、「広報大使」)の任命式を開催しました。

今回任命された広報大使は、さかなクン(東京海洋大学名誉博士・客員准教授)、平野啓子さん(語り部・かたりすと)、末吉里花さん(エシカル普及活動家)のお三方です。

日本ユネスコ国内委員会の安西祐一郎会長は「(お三方の)それぞれの専門性と発信力を存分に生かし、ユネスコ活動を、より広く、より多くの方に届けていただくことを期待しております。」と述べられました。

今後の活動について、さかなクンは「お魚のことを通して、ユネスコ活動とESD(持続可能な開発のための教育)を子供たちに伝えていきたい」と意気込みを語り、この日のために即興で描いたというイラストを披露しました。また、平野さんは「“語り”を通して、日本の美しさ、日本の文化、日本の心を子どもたちに伝えていきたい」、末吉さんは「ユネスコ活動の未来を担う子ども達や若者達と共に、社会変革の担い手となれるような様々なチャレンジに取り組みたい」と、熱意に満ちた抱負を述べられました。



(広報大使任命式の模様)

任命式については、事前にウェブサイトやSNS(文部科学省や国内委員会のfacebook等)等で開催を広く周知したほか、開催当日の様子は文部科学省動画サイトで公開し、新聞記事でも取り上げられました。

今後の広報大使の活動の場として、平成30年8月1日（水）に各省庁合同で開催される「こども霞が関見学デー」や「第10回ユネスコスクール全国大会」が予定されています。（その他の活動も調整中。）

2. その他の活動

○ 日本/ユネスコパートナーシップ事業

・ユネスコスクールへの支援

ユネスコスクール事務局業務を公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）に委託し、ユネスコスクール加盟申請にかかる業務、国内のユネスコスクールの活動支援業務等を実施しています。

・第10回ユネスコスクール全国大会を平成30年12月8日（土）に、横浜市立みなとみらい本町小学校で開催します。「未来はワタシたちを待っている—ESDで育てる児童生徒、教師、学校、地域、そして未来」をテーマに、ESDの推進拠点であるユネスコスクールを軸に、ESDに関心のある方が一堂に会し、対談、パネルディスカッション、分科会（ワークショップ、事例交流）などを行います。

・ユースへの支援

第5回ESD日本ユース・コンファレンスを平成30年10月13日（土）～14日（日）に名古屋邦和セミナープラザで開催します。学校教員・学生・NPO/NGO・行政・企業など、様々な立場でESDを実践する全国各地のユース約40名が、各自のESD活動の発展だけでなく、全国の実践者との交流や、ユース・コミュニティの形成等を目的に2日間を過ごします。

○ グローバル人材の推進に向けたESDの推進事業

大学、教育委員会、NGOなどが代表団体となり、学校、企業、商工会議所、ユネスコ協会、専門機関など多様なESD/SDGs関係団体と協力し、地域一体でのESDの普及から、特定のテーマに狙いを絞った全国規模のESDの実践まで、今年度は計12団体を採択し、全国各地で多様なESD推進に向けての取組が行われています。（詳細は別添参照）

○ その他の広報活動

- ・事務局から国内委員の皆様へ向けたユネスコ活動に関する御報告を隔月1回メール配信しています。
- ・ウェブサイトやSNS（文部科学省や国内委員会のfacebook等）、教育関係者向けのメルマガや広報冊子などで、ESDに関する取組を中心にユネスコ関連情報を発信しています。
- ・文部科学広報6月号に「日本ユネスコ国内委員会の取組～広報大使任命式と我が国のユネスコ活動について～」をテーマに特集記事を掲載しました。
- ・教育委員会月報8月号に「持続可能な開発のための教育（ESD）の推進～今日よりいいアースへの学び～」をテーマに特集記事を掲載予定です。

多様な主体が力を合わせ、持続可能な社会づくりの担い手を育成します！

～平成30年度 文部科学省「グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業」～

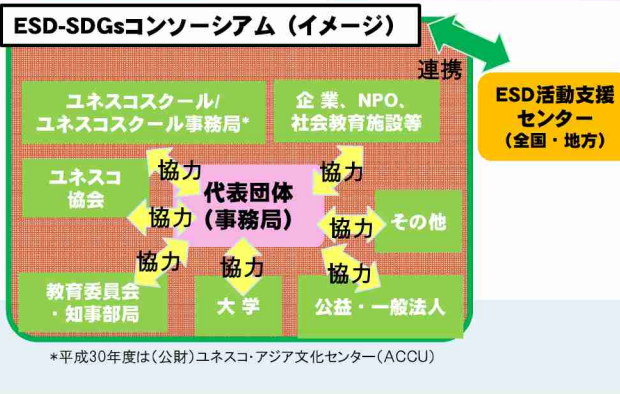
- ▶ 文部科学省では、多様なステークホルダーの参画によるESDコンソーシアムの構築と、「ESDの深化」を図る高度なESDの実践を通じて、持続可能な社会づくりの担い手を育成し、地域及び全国規模でのSDGs達成の推進に寄与することを目的とした事業を実施しています。
- ▶ ESD活動支援センター(全国・地方)と連携し、ESD推進ネットワークを形成します。

①ESDコンソーシアム事業【H26～継続】

- ◆ 目的・内容
 - ・ 教育委員会及び大学が中心となり、ESDの推進拠点であるユネスコスクールとともにESDコンソーシアムを形成し、地域のESDの実践・普及及び国内外におけるユネスコスクール間の交流等を促進。
- ◆ 申請者
 - ・ 教育委員会又は大学。

②ESDの深化による地域のSDGs推進事業【H30新規】

- ◆ 目的・内容
 - ・ ESDに携わる多様なステークホルダーがチームを形成し(ESD-SDGsコンソーシアム)、ESDの深化を図る高度なESDの実践を通じて、持続可能な社会づくりの担い手を育成し、地域のSDGsの推進に寄与する。
- ＜事業メニュー＞
 - ① ホールスクールアプローチの全国的な普及・推進
 - ② 学校教員及びユース世代のESDの実践力強化
 - ③ 地域のSDGs達成に向けた課題解決のためのESDの実践
 - ④ ユネスコ事業との連携によるESD/SDGsの推進
- ◆ ESD-SDGsコンソーシアム
 - ・ ESD推進に関する専門的知見、実績、教育資源、ネットワーク等を有する団体が中心となり、事業の実施に必要なリソースを有するステークホルダーとともにコンソーシアムを形成。



全国に広がるESD&ESD-SDGsコンソーシアム

- ▶ 大学、教育委員会、NGOなどが代表団体となり、学校、企業、商工会議所、ユネスコ協会、専門機関など多様なESD/SDGs関係団体と協力し、地域一体でのESDの普及から、特定のテーマに狙いを絞った全国規模のESDの実践まで、全国各地で多様な取組が行われています。

平成30年度採択のコンソーシアム

- ・阿賀町近代遺産教材化ESD-SDGsコンソーシアム
新潟水俣病などの阿賀町近代化遺産にまつわる光と影を題材に、小・中学校向けの教材を制作。(代表団体 (一社)あがのがわ環境学舎)
- ・信州ESDコンソーシアム
ユネスコスクールとユネスコエコパークの活動を連携させ、長野県の地理的特性を活かしたESD活動を提唱。(代表団体 信州大学)
- ・札幌-道央圏ESD-SDGsコンソーシアム
道央圏の学校が、地域課題に取り組む団体や大学生と密接な協働や交流を行うしくみを構築し、ESD実践を行う。(代表団体 北海道大学)
- ・東北ESD-SDGsコンソーシアム
東北地方ESD活動支援センターの活動と連携し、東北地方の広域にESD/SDGsの活動を普及・啓発する。(代表団体 宮城教育大学)
- ・横浜ESD推進コンソーシアム
「見直す つなげる 変わる 地域で、世界へ」というESDの視点から、カリキュラム・デザインと学校運営を見直し、ESDを浸透。(代表団体 横浜市教育委員会)
- ・サステイナブルスクール発ESD-SDGs全国コンソーシアム
全国24校のサステイナブルスクールとともに、UNESCOが推進するホールスクールアプローチの全国普及を目指す。(代表団体 (公財)ユネスコ・アジア文化センター)
- ・ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム
多様な機関・団体とESD・国際化の活動・取組等を展開し、新知見を探究しつつ、持続可能な学校・地域協働のネットワークを構築する。(代表団体 静岡大学)
- ・大牟田SDGs/ESDコンソーシアム
ESDの充実を図る教育行政ネットワークづくりとESDマスターティーチャ어의育成を図るプログラム開発(代表団体 大牟田市教育委員会)
- ・新居浜ESD-SDGsコンソーシアム
多様な関係諸機関との連携による地域内のESDの強化と普及促進。SDGs実現に向けて取り組む近隣の企業や団体等との連携促進。(代表団体 新居浜市教育委員会)

- 【参考】平成26～29年度採択のESDコンソーシアム
- ・ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアム
 - ・北陸ESD推進コンソーシアム
 - ・三重ESDコンソーシアム
 - ・近畿ESDコンソーシアム
 - ・大牟田ESDコンソーシアム
 - ・岡山ESDコンソーシアム
 - ・ESD千葉コンソーシアム
 - ・ESDコンソーシアム愛知
 - ・新居浜ESDコンソーシアム